

土方久元 ひさかた 政治家。天保四年十月十六日土佐國土佐郡秦泉寺村
 生れ、大正七年十一月四日歿（八三—九二八）。通稱楠左衛門。變名南
 大一郎。號秦山、秦山人、秦山樵夫。東上して若山勿堂、藤森弘庵に
 學ぶ。文久元年土佐勤王黨に加はり國事を奔走。維新後、江戸府・東
 京府判事等を経り太政官に出仕。のち内務大輔、内閣書記官長、元老
 院議員、宮中顧問官、宮内大臣等の要職を歴任。伯爵。

著書に『回天實記』全一冊（明治二十二年五月一日東京通信社）、『天
 皇及偉人を祀れる神社』（安原清輔・佐伯常麿共編、大正元年十一月
 二十日帝國書院）、『明治天皇御聖徳録』（大正二年一月十二日實業之
 日本社）等。

